

<2021年度 オリンピック・ムーブメント事業>

JOCオリンピック教室

— 実施報告書 —

東京都 板橋区立板橋第三中学校

Olympic
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「オリンピック・ムーブメント事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2021年4月～2022年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



※学校の通常の授業時間に実施

※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ



2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、
生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：井上 智裕 先生 (レスリング)【出場オリンピック／リオデジャネイロ大会】

■期 日：2021年11月29日(月)

■ク ラ ス：2年1組 / 運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・自己紹介では、レスリングにはフリースタイルとグレコローマンの2つの種目があること等を説明。オリンピックバリューについて、オリンピックだけに関係するのではなく、皆の日常生活の中にも関わっていること。運動の時間では、2人1組のペアに分かれて競争もするが、勝敗だけではなく、ペアと協力し、全力で取り組むことを目的として、授業に参加してほしいと伝え、準備運動に移る。

○主運動等



・そりりー(全2回)を実施。2人1組のペアを作り、1人は腰に帯を巻き、その帯でそり(バスマット)に乗っているペアを引っ張り、折り返しラインを越えたら、引く人と乗る人が交代してスタート地点まで戻る。



・授業の最初に伝えたオリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」を意識し、またチームで協力して全力で取り組むことができたかを確認し、次の座学の時間では、この運動の時間に感じたことを、さらに深堀していき考えてもらいたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 井上 智裕 先生 (レスリング) 【出場オリンピック / リオデジャネイロ大会】

■ **期 日** : 2021年11月29日(月)

■ **ク ラ ス** : 2年1組 / 座学の時間

○ 自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・レスリングのユニフォーム、ハンカチを見せながら、ユニフォームには青色と赤色があることやハンカチはユニフォームの中に入れて試合をするが、相手と激しく接触することもある競技のため、出血した時はそのハンカチで止血する。レスリングは非常に激しいコンタクトスポーツであるが、このようにハンカチを使う等、紳士的な一面を持ったスポーツでもあると説明。

○ 個人ワーク ~ グループワーク 等



個人ワーク発問：自分に合ったエクセレンス、フレンドシップ、リスペクトを考えてみよう。

グループワーク発問：個人ワークで考えた内容について、意見を出し合い、その意見をまとめてみよう。

発表：エクセレンス：「自分に厳しく、一生懸命がんばる、努力をすること」等

フレンドシップ：「お互いに協力するために、日頃からたくさん話し合い、コミュニケーションを取っておくことが大切」等

リスペクト：「自他共栄の精神のように、どんな時でも周りに感謝の気持ちを持って生きる」等



・学校での行事(文化祭や体育祭等)において、皆が考え、行動する時に、オリンピックバリューと繋げて頑張ってもらいたいこと。何事にも人が関わるため、相手のことを常に思いやる気持ちで行動してほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 井上 智裕 先生 (レスリング) 【出場オリンピック / リオデジャネイロ大会】

■ **期 日** : 2021年11月29日(月)

■ **ク ラ ス** : 2年2組 / 運動の時間

○ 自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ 準備体操



・自己紹介の後、オリンピックバリューについて、バリュー＝「価値」を知っているか問い掛けながら、人々が人生をより良く生きるために大切な価値観とされていること。オリンピックだけに関係するのではなく、皆の日常生活の中にも関わっていると説明。運動の時間では、2人1組のペアに分かれて競争もするが、勝敗だけではなく、ペアと協力し、全力で取り組むことを目的として、授業に参加してほしいと伝え、準備運動に移る。

○ 主運動 等



・そりりレー(全2回)を実施。2人1組のペアを作り、1人は腰に帯を巻き、その帯でそり(バスマット)に乗っているペアを引っ張り、折り返しラインを越えたら、引く人と乗る人が交代してスタート地点まで戻る。



・最初に話をしたように、楽しい中でも自分だけ楽しくしていると相手を怪我させてしまう可能性がある。オリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」にも繋がっていくことであり、またチームで協力して全力で取り組むことができたかを確認し、次の座学の時間では、この運動の時間に感じたことを、さらに深掘りしていき考えてもらいたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 井上 智裕 先生 (レスリング) 【出場オリンピック / リオデジャネイロ大会】

■ **期 日** : 2021年11月29日(月)

■ **ク ラ ス** : 2年2組 / 座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・レスリングのユニフォーム、ハンカチを見せながら、ユニフォームには青色と赤色があることやハンカチはユニフォームの中に入れて試合をするが、相手と激しく接触することもある競技のため、出血した時はそのハンカチで止血する。レスリングは非常に激しいコンタクトスポーツであるが、このようにハンカチを使う等、紳士的な一面を持ったスポーツでもあると説明。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



個人ワーク発問：自分に合ったエクセレンス、フレンドシップ、リスペクトを考えてみよう。
 グループワーク発問：個人ワークで考えた内容について、意見を出し合い、その意見をまとめてみよう。
 発表：エクセレンス：「自分の意志を貫き通し、努力し続けること」等
 フレンドシップ：「生きていく上で相手を思いやること」等
 リスペクト：「ルールを守るためには、わからないことを聞いたり、相手の気持ちを知ることが大切」等



・学校での行事(文化祭や体育祭等)において、皆が考え、行動する時に、オリンピックバリューと繋げて頑張ってもらいたいこと。何事にも人が関わるため、相手のことを常に思いやる気持ちで行動してほしいと伝え、授業終了。

■オリンピック：宮澤 崇史 先生 (自転車)【出場オリンピック／北京大会】

■期 日：2021年11月30日(火)

■ク ラ ス：2年3組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・自己紹介の後、東京2020大会を見たか問い掛けながら、3つのオリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について説明し、運動の時間はこの3つを意識しながら取り組むことを目的として伝え、準備体操に移る。

○主運動等



・記憶力競争リレー（全2回）を実施。
班対抗で、床に置かれた紙皿の上にあるハチマキの色と場所を記憶し、正解した数を競う。



・授業の最初に伝えた3つのオリンピックバリューを意識し、取り組んだことについて、次の座学の時間において、皆が感じたことや自身の経験談を通して話していきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 宮澤 崇史 先生 (自転車) 【出場オリンピック / 北京大会】

■ **期 日** : 2021年11月30日(火)

■ **ク ラ ス** : 2年3組 / 座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・映像を見ながら自転車競技について説明。オリンピックバリューについて、自身の経験談を通して、エクセレンス＝「頑張る」、フレンドシップ＝「友情」、リスペクト＝「敬意」に繋がっていると伝える。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



個人ワーク発問：運動の時間を振り返り、何を意識したか考えよう。
 グループワーク発問：個人ワークで考えた内容について、意見を出し合い、その意見をまとめてみよう。
 発表：「色別に覚える人を分担した」「ハチマキの置く場所をバラバラにした」「時間配分ができていなかった」「覚えられない人のために協力して覚えた」等



・持参した自転車を見せながら、思い通りには動かない特性があり、頭で考えることの大切さを説明。これからの人生では様々なことに挑戦しながら、学校生活を楽しくしてほしいと伝え、授業終了。

■オリンピック：宮澤 崇史 先生 (自転車)【出場オリンピック／北京大会】

■期 日：2021年11月30日(火)

■ク ラ ス：2年4組 / 運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・ロードレース競技についての説明と共に自己紹介した後、オリンピックバリューについて、その意味を知っているかを問掛け、生徒からは、フレンドシップ＝「友情」、リスペクト＝「尊重」と意見が挙がり、エクセレンスは「全力で立ち向かうこと」と説明。何事も自分のペースで最大限の努力をすること、運動の時間ではオリンピックバリューを意識することで、様々なことが見えてくると伝え、準備運動に移る。

○主運動 等



・記憶力競争リレー（全2回）を実施。
班対抗で、床に置かれた紙皿の上にあるハチマキの色と場所を記憶し、正解した数を競う。



・主運動の結果発表では、正確に記憶する方法や、班の仲間と一生懸命考えながら頑張っていたこと等を伝え、拍手で称えた。
次の座学の時間では、運動の時間を振り返り、オリンピックバリューについて、一緒に考えていきたいと伝え、授業終了。

■オリンピック：宮澤 崇史 先生 (自転車)【出場オリンピック／北京大会】

■期 日：2021年11月30日(火)

■ク ラ ス：2年4組 / 座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・映像を見ながら競技を始めたきっかけや、自転車競技の本場でもあるヨーロッパでの生活等、経験談を紹介。自身より強い選手も含め、ライバルには敬意を示し、友達になること、トップ選手と競うために作戦を考えると、何事にも諦めずに挑戦していくことの大切さ等について説明。

○個人ワーク～グループワーク等



個人ワーク発問：運動の時間を振り返り、何を意識したか考えよう。

グループワーク発問：個人ワークで考えた内容について、意見を出し合い、その意見をまとめてみよう。

発表：「意見を出し合い、色を覚える人を分担した」「記憶力に自身がない人は速く走り、時間を短縮した」「記入用紙の向きを間違えないように気をつけた」「列ごとに記憶した」等



・スポーツは体を動かすだけではなく、頭で考えることも大切である。これからの人生で様々な経験をしていく中で、困難を乗り越えていかなければならないこともあると思うが、何事にも諦めずに挑戦する気持ちを忘れないでほしいと伝え、授業終了。

・2年1組



・2年2組



■集合写真

・2年3組



・2年4組



■ 記念品贈呈

・2年1組



・2年2組



・2年3組



・2年4組



■ 修了証贈呈

